

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 3日 更新

事務事業名		人権ふれあいセンター冷暖房機器等改修工事事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	西川正則
	施策	23	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	二瀬義継
	基本事業	75	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	人権ふれあいセンター	(内線)	248-3893
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 9	事業連番 11571	法令根拠	成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和50年代、部落差別解放運動が盛り上がり、同和地区の生活的及び経済的問題を解決する拠点施設として昭和57年7月に合志町隣保館として開館した。その後、平成11年度において小会議室・ロビー等を増築し、室内改装工事も実施しているが、空調機器及びガス機器(コンロ、レンジ)の老朽化が進んでいる。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	設計委託業務 → 設計書作成 → 施工伺い → 業者選定 → 入札 → 施工 → 完成 → しゅん工検査 → 支払い
【主な予算費目】	工事請負費 7,363,000円 (空調機器 6,363,000円※エアコンタイマー設置費含む、ガス機器 1,000,000円) 設計委託費 480,000円 総額 7,843,000円
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 空調機器は、古い機種であるため温度調整もできず時折り故障することもある。また、ガス機器については今まで不具合(ガス爆発事故を含む)はあまり発生しておらず、利用者に迷惑をかけたことはないが、もし、発生すれば火災等の大惨事に繋がる不安な状況にある。また、空調機器については、機種を新しくすることで運転効率が上がり、省エネタイプであるため電気代の節減が図れる。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規	
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)		24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
熊本県(補助事業の実施主体が県のため)への補助事業申請に係る事務		国庫補助事業である地方改善施設整備事業(隣保館等)で実施する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→	ア	新規事業である。(単年度)	
→	イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
施設利用者		(単位)	
→	ア		
→	イ		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
良好な施設環境を図る		(単位)	
→	ア		
→	イ		
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア									
	イ									
②対象指標	ア									
	イ									
③成果指標	ア									
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円				5,040			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円				2,803			
		(A)事業費計	千円			0	0	7,843		
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0		
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0		
		正規職員従事人数	人			0	0	1		
延べ業務時間		時間			0	0	0			
(B)人件費計	千円			0	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円			0	0	7,843				

事務事業名	人権ふれあいセンター冷暖房機器等改修工事事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	------------------------	-----	----------	-----	---------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は?	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか?	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか?成果が頭打ちになってないか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						